



# ものづくり現場に資する リスキリングを！ 電気主任技術者の取得支援を要請しました



～リスキリングとは？～

時代の変化により、今後必要とされる新たなスキル・知識を身に付けることです。

(Re-skilling=スキルの再習得)

実際、現場では、働きながら学ぶ時間がなく、企業にも余裕がないのが現状です。政府が物心両面でサポートし、働きながら成長できる社会を実現してまいります！

皆さん、ご安全に！ 参議院議員の村田享子です。  
6月13日に行った参議院経済産業委員会での質疑では、電気設備の保守・監督を行える国家資格「電気主任技術者」など、現場に必要な資格取得者が不足している危機的な実情を強く訴え、製造業の現場に必要な資格取得を支援するよう、政府に求めました。

## 6/13 電気主任技術者の人員不足に取り組む

質問項目	村田議員の質問	回答者	回答
取得に支援を！ 電気主任技術者	○今、 <u>電気主任技術者を、ものづくり現場で確保するのが難しくなっている。工業高校の減少等</u> により、資格取得者が減っているのが要因の一つ。デジタル化の進展により、電気の需要も今後増える。 <u>国として資格取得に向けた支援を行うべき。</u>	辻本政府参考人	○同技術者の <u>高齢化</u> も、減少の要因。 ○近年、第三種試験を年1回⇒年2回に、試験会場を80カ所⇒260カ所に増加させ、コンピュータを使用するCBTテストを導入した。出前授業・情報発信等も展開中。 ○ <u>今後も、官民連携で必要な体制を講じる。</u>
ものづくり現場に資する リスキリング支援を！	○政府は、リスキリングを通じたキャリアアップ支援事業を推進しているが、 <u>電気主任技術者など、製造現場で活用できる資格取得支援を行うべき。</u> ○ものづくり産業で働くのに必要な資格や将来性等の <u>情報が届かないと、資格取得のニーズも生まれない。</u> デジタル化・IT化と言われているが、人がいなければ、ものづくりはできない。 ○ <u>ものづくりの現場に必要な資格ごとに、現状どの程度不足をしているかを把握し、ニーズに応じたリスキリングの支援事業を展開して欲しい。</u>	菊川政府参考人	○労働者が、ものづくり産業の将来を見据えてリスキリングを求める環境整備が大事。 ○ <u>リスキリング支援事業で、製造業の現場で使える講座は、全体105中15程度。</u> ○デジタル系の講座が多いのは、現場のニーズがある程度反映されているから。 ○ <u>今後とも、現状把握と検証を行った上で、また新たに(事業を)採択する予定。</u> 製造業の人材育成にしっかり取り組む。
大手企業への人的投資の 拡大が不可欠！	○産業競争力強化法案の審議で、経済産業省の資料(企業活動基本調査)の中で、 <u>「中堅企業はすごく人材教育投資を行っているが、大企業は過去10年比で202億円減」と</u> の記載があり、大変びっくりした。今後、大企業に対して、どのように“人への投資”を促すのか。		○コストカット型経済の中で、人への投資を「コスト」と考えて抑制してきたのではないかと。 ○賃上げ促進税制では、教育訓練費を増やすと税額控除額を増やす取組も行っている。 ○賃上げ促進税制を使った企業の中で見ると、教育訓練費を上乗せしている大企業は多い。 <u>賃上げしている企業は、人的投資もやっていると推測されるが、今後も様々なデータに基づき、対策を行う。</u>

質問動画の二次元コード  
村田きょうこチャンネル(YouTube)  
6月13日 経済産業委員会での質疑を行いました！  
(「労使会議とカルテル」「リスキリング支援」)



【発行元】JAM 政治センター  
〒105-0014  
東京都港区芝2-20-12 友愛会館11F  
TEL: 03-3451-2451  
公式サイト⇒ <https://murata-kyoko.com/>